

- 1 主題名 内容項目名 公正、公平、社会正義 (内容項目番号 D-(11))
(資料名「卒業文集最後の二行」 出典「私たちの道徳」)

2 主題設定の理由

(1) 価値について

内容項目 D-(11) は「正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。」ことをねらいとしている。人は社会で生きて行く上で、正しい秩序を維持するために正義を貫こうとする。いつでも誰に対しても公平と認められる公正さが求められる。人間である限り、好き嫌いはあるものの、自分自身と同様に他者も尊び、偏った見方や考え方に陥ることなく誰に対しても公平に接する生き方が求められる。自己中心的な偏見から差別をしたり、差別を見逃したり、差別を許したりすることは、決してあってはならない。誰もが安心して生活できるより良い社会を実現するためには正義と公正さを重んじていくことが必要である。

現在、学校において生徒の安心・安全が守られているという社会からの信頼が揺らいでいる。いじめ、自殺、暴力などの問題の重要性を学校が真摯に受け止めて、根絶に向けた努力をすることは学校の信頼回復には欠くことができない。生徒の中には自己中心的な言動や粗野な言動を繰り返したり、他者に不公平な言動をとる者が見られる。いじめや問題行動に対して他者を守る公正な態度が取りにくく、見逃したり、眺めていたりすることもある。心の底にある差別や偏見は目の前にある問題を見過ごすことにもなる。現実の社会でも差別や偏見に満ちた解決すべき問題がある。

中学生の時期に不正を憎み、不正な言動を正していこうとする気持ちを持たせ、いつでも誰に対しても公平に接し、正義と公正さを貫く態度を育てたい。私たちの生活の場を振り返り、正義と公正を守り、理想的な住み良い社会を築こうとする態度を育てることが必要である。

以上のことから、いじめに関わる資料を使い、身近にある差別や偏見に気づき、正義と公正さについて捉え、誰にでも公平に接し、過ごしやすい集団をつくろうとする態度を育てることをねらって、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

中学生らしい素直さを持ち、落ち着いた生活をしている。優しい気持ちを持っており、周りの人々に対して気を遣い、丁寧に接することができる。自分の気持ちを振り返り、理由をつけて考えることができる。ワークシートにも自分の考えをきちんと書くことができる。

本時に関わる「事前調査」の結果は以下の通りである。

- ① あなたはいじめられた経験がありますか。 はい1人、いいえ19人
- ② あなたは人をいじめた経験がありますか。 はい1人、いいえ19人
- ③ あなたのいじめにかかわる経験を書いてください。
暴言を言われたことがある(3人)等
- ④ 調査1 花子さんの家庭は両親が病気がちで、子供の面倒が十分に見られていません。ある時汚れた運動着を着て体育に参加しました。太郎君

たちが「きたねえから、あっちに行け。」とはやし立てました。

◎あなたはどうしますか。

注意する（6人）、止める、花子に声をかける（各3人）、かかわらない（2人）等

◎なぜそうするのですか。

嫌な気持ちだから、傷つくことだから（各3人）、事情があるから、着たくて着ているのではないから、心配だから、自分もいじめられるから（各2人）等

⑤ 調査2 花子さんがテストで満点を取りました。花子さんより点数が低かった太郎君は「花子がこんなにもできるはずがない。カンニングしただろう。ずるいやつだ。」と騒ぎ立てました。花子さんは泣いて教室を飛び出していきました。

◎あなたはどうしますか。

花子を追いかける（7人）、注意する（5人）、太郎を責める（3人）、謝らせる（2人）等

◎なぜそうするのですか。

かわいそうだから、傷ついているから（各4人）、嫌だから、間違っているから、花子は悪くないから（各2人）

⑥ あなたは「いじめ」をどのように考えているかを書いてください。

いけないこと（8人）、絶対にいけないこと（6人）、人を傷つけること（4人）、死に追い込むかもしれない、意識しないで起こっているかも（3人）、相手の気持ちを考えて、この世からなくしたい（各2人）等

いじめの経験がない生徒が多数である。いじめを想定した場面調査では、注意をする（6人）、止める（3人）等の積極的な関わりをしようとする者が多い。花子が泣いて教室を飛び出した時には、花子を追いかける（7人）たり、太郎を注意する（5人）、責める（3人）、謝らせる（2人）等の積極的な行動をとると答えている。いじめはいけないこと（8人）、絶対にいけないこと（6人）等、いじめを強く否定し、いじめをなくしたいと生徒は考えている。

授業を展開するにあたっては生徒の公正な見方や考え方を大切にしながら、筆者が自己中心的な偏見から、何の罪もない友達を差別した時の気持ちをつかませ、いじめ、を受けている人の気持ちを捉え、誰に対しても公正に接し、よりよい生活をしていくために自分はどう行動するかを考えさせていきたい。

（3）資料について

筆者が小学校時代に T 子さんにむごいじめをしたことを大人になっても悔やんでいることを告白した資料である。母を亡くし、二人の弟の面倒を見て行商の父を支えていた T 子さんは経済的に恵まれず服装も汚かった。筆者は T 子さんに「きたねえ」とけなして、周りの悪童とともにやし立てた。漢字の小テストでは T 子が 98 点も取れるはずがないと悪童たちと一緒に中傷し、T 子さんは泣き叫んで走って行った。卒業式の日配られた「卒業文集」の T 子さんの作文の最後の二行を読んだ筆者は大きな衝撃を受け、自責の念にかられているという内容である。

いじめのむごたらしさ、悲惨さが伝わってくる資料である。自分自身を振り返り、いじめたり、いじめに加担したり、傍観したり、見て見ぬ振りをしたりと人それぞれで立場は異なるが、いじめられている人の身になって考え、話し合えるように指導の工夫を図りたい。

3 ねらい

筆者が T 子さんをいじめている時や「卒業文集」の T 子さんの作文を読んだ時の気持ちを通して、正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会を実現しようとする態度を育てる。

4 展開

学習活動と主たる発問	予想される生徒の反応	時配	支援の手立て・留意点
<p>1 事前調査の結果から資料に入る雰囲気をつくる。</p> <p>① いじめはありますか。</p> <p>② いじめをどのように考えていますか。</p> <p>2 資料『卒業文集最後の二行』を読み、主人公の気持ちを話し合う。</p>	<p>① ない 19人</p> <p>② いけないこと（8人）、絶対にいけないこと（6人）、人を傷つけること（4人）、死に追い込むかもしれない、意識しないで起こっているかも（3人）、この世からなくしたい（2人）</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> 事前調査の結果を示していじめについて確認する
<p>筆者の T 子さんへのいじめとその気持ちの変化について考え、より良い生活について考えよう。</p>			
<p>① 筆者が T 子さんを「きたねえから、もっと離れる。」とはやし立てた時どんなことを考えていたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 汚かったからそのままを言った。 みすぼらしくて近付いて欲しくなかった。 嫌がらせをみんなで言うのが楽しかった。 みんなとはやし立てると面白かった。 	8	<ul style="list-style-type: none"> T 子の服装がみすぼらしく汚かったので、はやし立てると盛り上がるので面白がってやったことをつかませる。
<p>② 漢字小テストでカンニングして満点を取ったのに、T 子さんに「おめでとう。」と心から言われた時、筆者はどんな気持ちだったのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が T 子さんの答案をカンニングしたので、バツが悪かった。 本当は T 子さんが最高得点だったので、後ろめたい気持ちだ。 自分に勇気がなく、卑怯に感じた。 自分がカンニングしたのに、心から褒められて恥ずかしい。 	6	<ul style="list-style-type: none"> 心から賛辞を送る T 子に比べ、カンニングという卑劣な手段で満点を取った自分が恥ずかしい気持ちになったことを捉える。
<p>③ T 子さんに「カンニング」の疑いをかけて騒ぎ立てているのを聞いて、筆者も「ずるい」と責めたことにより T 子さんが泣いて叫んで</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分よりも T 子の方が最高得点だと思えば腹立たしかった。 あんなみすぼらしい T 子に小テストで負けたのが許せない気持ち。 	10	<ul style="list-style-type: none"> 自分のカンニングについての後ろめたさはあるものの、なんとも言えない T 子に対する腹立たしさや悔しさがあ

<p>逃げ出した時の筆者はどんなことを考えていたのだろうか。</p> <p>④ 卒業文集の最後の二行に書かれた「私が一番欲しいのは母でもなく、本当のお友達です。そして、きれいなお洋服です。」を読んで、筆者はどんなことを考えたのだろうか。</p> <p>3 いじめのような差別や偏見のない社会を作るためにあなたはどのように考えましたか。考えをプリントにまとめ発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カンニングの後ろめたさが逆に T 子さんへの憎たらしさになった。 ・周りが騒ぎ立てるので面白半分な気持ち。 ・泣き叫び逃げ出して卑怯だという気持ち。 ・悪いとは思うものの格好をつけている。 ・T 子さんにしたいじめがあまりにひどい仕打ちで悔やんでいる。 ・T 子さんのことを思うと切なく、つらく、悲しすぎて、謝りたい。 ・あまりに残酷なことを思い、T 子さんの作文に衝撃を受けた。 ・経済的に苦しい家庭を支えている T 子さんをいじめたことを後悔している。 ・苦しい生活の中でも小テストで最高得点を取るほど頑張っている T 子さんを差別して本当に申し訳ない気持ち。 ・その時の感情に任せず、他の人の立場に立って行動する。 ・何が正しいかを判断してみんなが平等に生活できるようにする。 ・みんなが正しく考えて行動し、公平に過ごせるようにする。 ・他の人に対して偏った見方をしないようにして差別をしない。 ・いじめは心を傷つけることだから、いじめないようにし、注意できるようにする。 ・授業の取組について記入する。 	<p>1 2</p> <p>1 0</p> <p>2</p>	<p>り、T 子さんには悪いことをして謝りたいという気持ちもある中で、冷たく当たってしまったことを捉えることができる。</p> <p>・プリント ◇T 子さんは何も悪くなく、偏見に基づく差別と言える残酷ないじめをしたことを筆者が深く後悔していることを理解できる。</p> <p>・プリント ◇他の人の立場に立って正しく考え、公平に誰とでも過ごすことにより、偏見に満ちた「いじめ」のような差別が起こらないよう行動しようとする考えをまとめることができたか。</p> <p>・5 段階で自己評価し、理由を書く。</p>
--	--	--------------------------------	--

4 自己評価の欄を記入する。			
----------------	--	--	--